

学ぶ・遊ぶ・食べる

Let's Go! 大島



金子小学校



6年 篠原 琴音

4年 篠原 咲音

調べた理由



あかがねミュージアムに行ったとき、大島について
展示したコーナーがありました。そういえば、新居
浜に住んでいるのに、1度も行ったことがない！
コーナーでは、ドローンを使った島の映像が写され
ていました。海がとてもきれいで、自然豊かな所
のようでした。また、大島のむかしの様子を写
した写真などもあり、新居浜にこんな島が
あったんだと改めて知りました。映画の舞台に
なった場所もあるようで、どんなところなのか
行ってみたいと思い、この夏休み大島につ
いて、いろいろ調べてみることにしました。



あかがねミュージアム「大島だいぼうけん」パンフレット

調べたこと

- 1 島の歴史
- 2 島内サイクリング
- 3 渡海船「おおしま7」
- 4 とうどおくり



船かくし…危険な場所なので、
実際に見ることができませんでした。

昔の大島って こんな島!?

歴史、産業、自然について



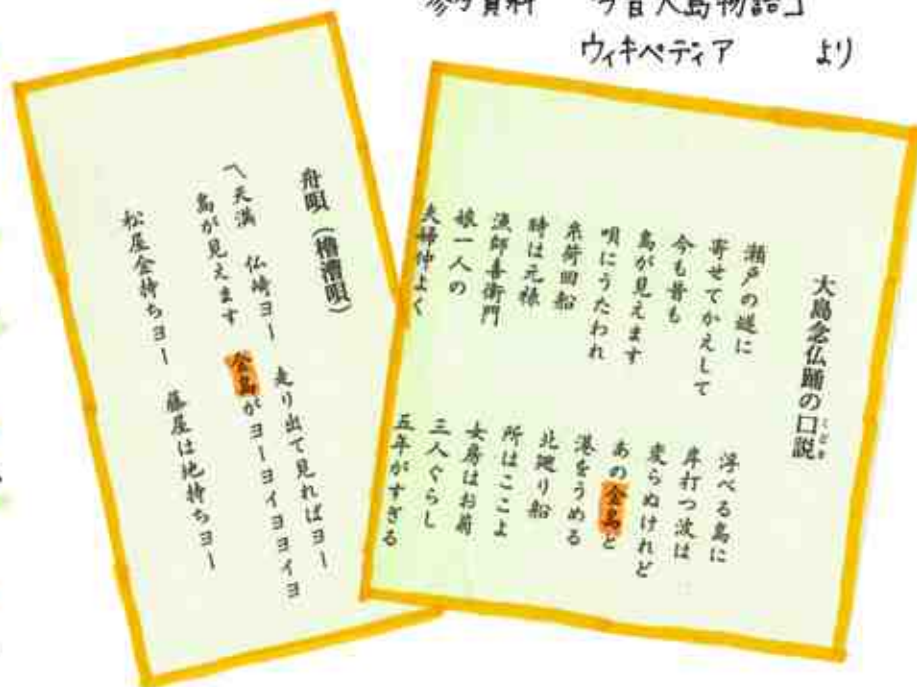
大島の白いも

中世に瀬戸内海で活動した

村上水軍の頭領である村上義弘の生まれた島で、南部には、当時たてられた大島城のあとが残っており、本丸跡、二の丸跡、船かくしなど、伊予水軍の遺跡が残っています。また、神社や寺の歴史、島に伝わる舟唄や民話などから、海上交通・流通の拠点として栄えていたこともうかがえます。あかがねミュージアムの「大島たいほうけん」のコーナーでは、写真家日和佐初太郎さんの写真の中に、いわし網漁の風景や、浜いはいに干されたイリコの様子も見ることができ、漁業も盛んだったようです。また、山ではミカンや、大島でしか栽培できないと

言われる白いもがつくられていたそうです。むかしは海水浴場もあり、島を訪れる人も多かったです。

参考資料 「今昔大島物語」
ウィキペディア より



大島念仏踊の口説

瀬戸の堤に
寄せてかえして
今も昔も
島が見えます
明にうたわれ
糸舟回船
時は元禄
法師善衛門
娘一人の
大船仲よく
浮べる島に
舟打つ波は
変らぬけれど
あの金島と
港をうめる
北地り船
所はここよ
女房はお前
三人ぐらし
五年がすぎる

舟唄 (槽漕唄)

へ天満 仏境ヨー 走り出て見ればヨー
島が見えます 金島がヨーヨイヨイヨ
松屋金持ちヨー 藤屋は地持ちヨー



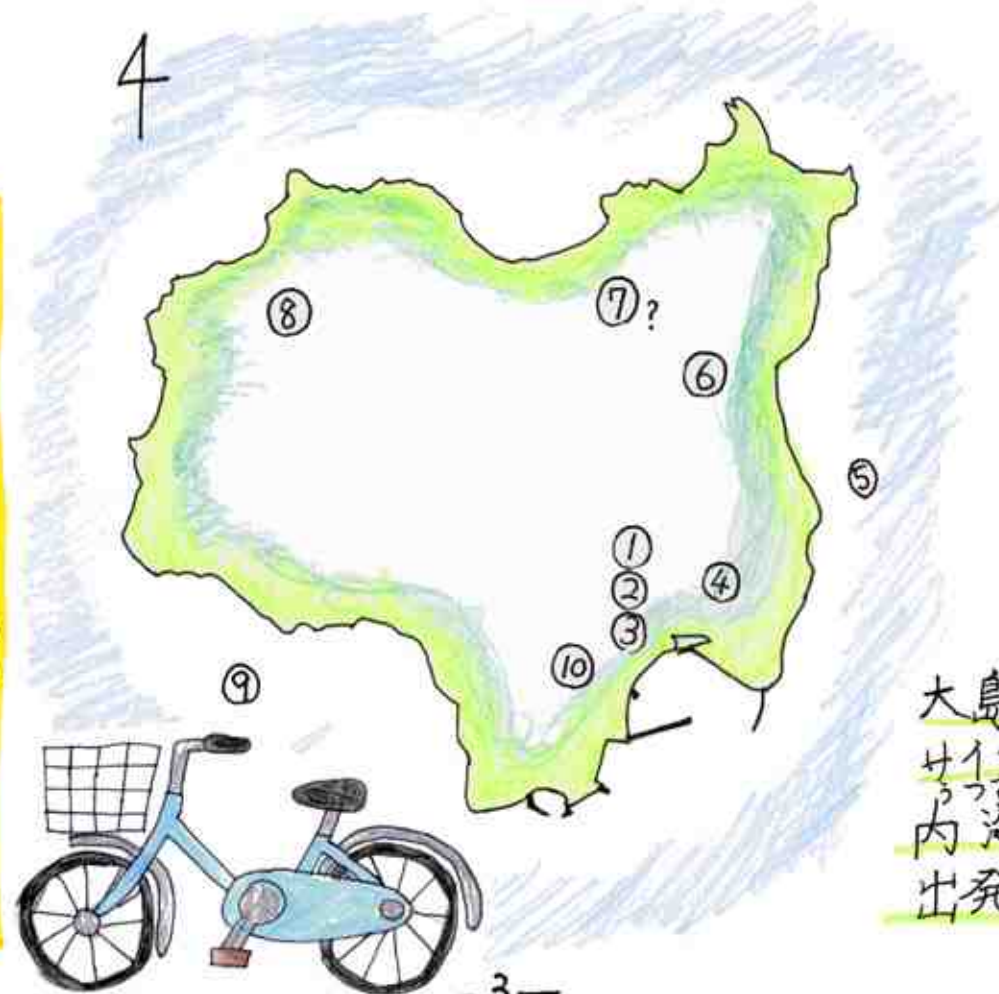
渡海船「おおしまり」に乗って大島へ

さあ、大島へ出発！ サイクリングで島内一周！！



周ってきたポイント

- ① 吉祥寺・願行寺
- ② ジャックのパン屋さん
- ③ 村上邸
- ④ 大島交流センター (旧大島小学校)
- ⑤ 東海岸
- ⑥ 牧場とカフェ(ジャックさん夫妻)
- ⑦ 白イモ畑
- ⑧ けわしい山道
- ⑨ 西海岸
- ⑩ 大島八幡神社



大島港のすぐそばに「大島レンタサイクル」があります。ガイドの内海さんにいろいろ教えてもらい出発！暑いけどがんばるぞ！！

① 吉祥寺・願行寺



吉祥寺の境内には、大昔に
活やくしたといわれる大島
出身の力士「石槌島え助」の
供養ひがありました。
願行寺は市内でゆいいつの
浄土宗のお寺です。ゆうれい
の片袖が伝説とともに、寺
の宝として残されていて、か
けじくなどもあるそうです。



— 参考資料 —
・「ホージャ!」2016年6月発行
新居大島再発見より

大島の大力士
石槌島え助

レンタサイクルに
かざってあった
島え助の足形



身長194cm、体重183kg.

足のサイズ53cmの記録が残り、転ぶくしそうに
なった船を引、張って助けたという伝説もあるそうです。

自分の娘を残して死んでしまったお母さんがある夜、ゆうれいに
なつ娘の前に現れます。娘は、ママ母にいじめられていて、いつも

ゆうれい
の
片袖伝説

悲しんでいました。その娘に、ゆうれいのお母さんは、
着物の片そでをかたみとして置いていきました。
その後娘は尼さんになり、不幸な子どもたちや
困っている人を
助けました。



② ジャックのパン屋



テレビや雑誌などでも紹介された「ジャックのパン屋」。

スイスから移住してきたジャックさんが作っています。県内

外からやってくるお客さんもいる、人気のパン屋さんだそうです。古い家屋を利用した手作りのお店で、かわいい看板やメニュー、スイスの国旗をおしゃれに飾っていました。この日はオープンより少し早めの時間に行きましたが予約しておいたので、快よく準備して下さり、スイスパンを買うことができました。ずいぶん大きくてびっくりしました。

こんなパンを買ったよ!

三つ編み風の「トレス」

もちっとした「トスカーナ」



③ 村上邸



パン屋さんから少し南に下ると、長く立派なへいや大きな門がある「村上邸」があります。中に入ることはできませんでしたが、私たちがうろろしている、近所のおいひさんが「大きな家ほろ。今はもう誰も住んどらんけど、広いそー」と教えてくれました。村上水軍の頭領「村上義弘」の生家で、映画「瀬戸内海賊物語」のロケ地にもなったそうです。映画も見ていたので、実際に見て、「あぁ、あのシーンだな」とわかりました。

④ 大島交流センター (旧大島小学校)



子どもの数が減り、2013年に廃校になりましたが、今は地区の公民館、災害時の屯人場所になっているそうです。シャワールームやバリアフリーのトイレ、調理室などもあるそうです。

⑤ 東海岸



天気も良かったので、海や空がとてもきれいで、気持ちよかったです。海では漁船で漁をしていたり、箱のようなものを持って、もぐって何かをとっている漁師さんもいました。真夏なので暑いんだけど、新居浜の市街のような暑さではなかったような気がしました。(家族4人の同じ意見!) 海の風、山、建物や車が少な自然のおかげかな?

途中で見つけた! 大島の自然



こんな大きなカブトムシが、家の柱の近くにいました! びっくり!!

海岸の道に見つけた
なぞの足あと!?
コンクリートが固まる前に
動物が歩いたみたいです。
犬かな? ねこかな?
もしかして、いのしし!?



⑥ 牧場とカフェ

ジャックさん
夫妻



ここは特に楽しかったで
す。つい先日、オープンした

ばかりだそうで、主に、ジャックさんの奥さんが建物を作ったそうです。外の牧場には、馬やニワトリ、ヤギ、くじゃくなどがいました。カフェと牧場がひっついているので、テラスの柵の上でニワトリをなでたり、馬をさわったりすることができました。カフェができるまでにとっても苦勞したことは、動物が病気になってしまったことだと思います。メニューには、チーズを使ったスイス料理がありました。お店の中も、木をたくさん使っていて、やさしい雰囲気でした。テレビや音楽など、音が全くないところだったけれど、木のおいよときどきふく風がとても気持ちいいお店でした。

⑦ 白毛畑

(?)

山道のと中で見つけた

広い畑。葉の様子から、たぶん白毛畑だと思います。きれいに手入れされていて、動物よけのあみや柵をしていました。



⑧ けわしい山道



もうハントハントだあ...

島の北側から西側にかけて、
山道のアップダウンのきつい所
が多かったです。ちょっとさみし
い所もあって、「たいしょうぶかな」
と不安になりました。

⑨ 西海岸



山道を下って、いよいよ西海岸に出ました。黒島が見えたときは、「うわー、海の方から新居浜の景色が見えるなんて、新鮮だなあ！」と思いました。内海さんの話では、天気や季節、気候の条件がそろえば、来島海きょう大橋まで見えるそうです。特に西海岸の夕焼けは、おすすめの眺めだそうです。

⑩ 大島八幡神社



大島港から西に行くと、大きな鳥居があります。長い石段を登ると、大島八幡神社と、奥には大元神社がありました。特に大元神社の屋根のあたりの造りは立派で、市の指定文化財にもなっているそうです。



15分の船旅 渡海船「おおしま」って どんな船？



「おおしま」について教えて下さった
運輸観光課 小西さん

- 黒島から大島までは、片道約15分。
- 船の料金は、大人60円、小人30円(片道)。
- ☆ 大島側には券売機がないので、往復分(120円、60円)を買って乗船しなくてはならない。
- 黒島発も大島発も、だいたい1時間に1便。
- ☆ 6便7便の間は、点検のためか、2時間ほどあくので注意!
- 客室は主に2F。エアコンやテレビがあって快適。
1Fは車やバイクなどが入り、バリアフリーの客室も
あった。自動ドアで、車いすなども入れるくらい広い
スペースで、手すりなどもついていた。

「おおしま」の →
乗船券と時刻表
↓



市営渡海船時刻表

新居大島 運輸観光課 0897-65-1261

便	下り		上り	
	黒島発	大島着	大島発	黒島着
1	6:45	7:00	6:20	6:35
2	7:40	7:55	7:10	7:25
3	8:40	8:55	8:15	8:30
4	9:40	9:55	9:15	9:30
5	10:40	10:55	10:15	10:30
6	11:40	11:55	11:15	11:30
7	13:30	13:45	13:05	13:20
8	14:30	14:45	14:05	14:20
9	15:45	16:00	15:15	15:30
10	16:40	16:55	16:15	16:30
11	17:30	17:45	17:05	17:20
12	18:30	18:45	18:05	18:20
13	19:40	19:55	19:15	19:30
14	20:40	20:55	20:15	20:30
15	21:30	21:45	21:05	21:20

大人：60円 普通乗用車：750円

運輸観光課 小西さんに

「おおしま7」について教えてもらいました



Q1. 「おおしま7」は、いつできたのですか？

A. 平成23年に就航しました。予備船の「くろしま」は、平成15年に就航し、現在は最後の14便・15便で使われています。

Q2. 利用する人は、どんな人が多いですか？

A. やはり大島に住んでいる人ですね。

Q3. 利用者が多い時間帯や、時期はいつごろですか？

A. 大島発は8:15、9:15。病院や買い物に行く人が多いです。そして、その人たちが島へ帰るため、黒島発は11:40、13:30ごろが多いです。年間を通して多いのは、おほしめの時期ですが、1便の乗船率で最も多いのは、1月の「とうどおくり」の日。臨時便も出ますよ。

Q4. 船のかわいい絵は誰が考えたのですか？

A. 商業高校の生徒さんです。応募者の中から選ばれました。

Q5. 船の運航で、大変なことは、どんなことですか？

A. やはり海が荒れたり、視界が悪くなることですね。春先の濃霧の時期や、台風の日は大変です。風量が基準をこえて暴風域に入ったりすると、欠航になってしまいます。

小西さんに聞いた

みんなが知らない 船のヒミツ

—船のトン数は、重さの1t、2tとはちがう!—

「おおしま7」のトン数は、188トンです。しかし、これは船の重さではありません。重量としては、「おおしま7」は110tだそうです。予備船の「くろしま」は小型船はくりに分類されます。



大島港の
フェリー乗り場に
飾られている
とうどのミニチュア

伝えたい、残したい 伝統行事 「とうどおくり」



全国観光情報サイト 見るナビより「とうどおくり」

「とうどおくり」は、平安時代に宮中でおこなわれていたものが民間に定着したもので、「左義長(さぎちやう)」とも言われます。大島のとうどおくりは、毎年1月の成人の日あたりにおこなわれ、市の無形文化財に指定されています。正月かざりの門松やすずはらい竹、しめなわなどを集めて、竹で組んだ高さ12mほどの「とうど」を作り、大のぼりを中心に、数十本の小のぼりをつけて燃やす火祭りです。子孫のすやかな成長と、無病息災を願っておこなわれる正月行事です。むかしは、男の子のまつりだったそうで、子どもたちは学年によって4つの階級に分けられ、それぞれの役割があたります。まつりの前日、子どもたちは、びしもん堂の

いろりを囲んで、島のお年寄りたちから昔話を聞く習わしがあるそうです。当日は、ぜんざいやあま酒などがふるまわれるそうです。

— 参考資料 いぎん地域経済研究センターHP 大島(新居浜市)より —

〈昭和四十年代までの子どもの組織〉

- 十三才 … 水くみ (見習い雑役)
- 十四才 … 新入 (執行)
- 十五才 … 大将 (企画・運営)
- 十六才 … 喰い抜け (相談役)

— 仲村さんにお借りたレポートより —

ボーイスカウト新居浜第2団 仲村さんに 大島の「とうとおくり」について教えてもらいました。



仲村さんは、子どものころボーイスカウトに所属されていて、大島のとうとおくりに参加していたそうです。資料やレポートを借していただき、いろいろ教えてもらいました。

Q1. 参加されたのは何年生のときですか？

A. 5年生くらいのときです。当時、子どもとうとの復活の話があり、ボーイスカウトとして大島の子どもたちといっしょに行事に参加しました。

Q2. のほりを実際に作ってみて、どんなところがむずかしかったですか？

A. 大のほり作りが大変でした。新聞紙をつなげて3mくらいにして、あみを張りつけて、その作業をくり返します。のりは小麦粉を水でとかしたものです。あと、習字で字を書くのもむずかしかったです。

Q3. 特に思い出に残っていることはどんなことですか？

A. とうとは前日から立ておくので、風でのほりが曲がったり、雨でぬれたり、いろいろ条件が悪いと、まっすぐに燃えませんが、ある年、とてもきれいにまっすぐに燃えた年があって、そのことが心に残っています。あと、大のほりの字を任せてもらったときですね！



「とうとおくり」について教えて下さった
仲村さんと、当時のレポート

感想

わたしは、大島で見つけたカブトムシや、
ジャックさんの牧場にいた、たくさんの動物に
さわったことが、心に残っています。海の色と
空の色がとてもきれいで、自転車に乗って走った
海岸沿いは、本当に気持ちよかったです。北側の
山道は、うす暗い林の中もあったので、少しこわ
かったし、上りのきついところもあってしんどかった
けど、西海岸から黒島が見えたときは、「うわー！
新居浜が見える!!」と感げきしました。今度は
どうどおくりを見に行ってみたいです。

(咲音)

今までながめるだけだった大島に、初めて行き
ました。新居浜に住んでいるのに、黒島のフェリー
乗り場も知りませんでした。大島について調べていくと、
この小さな島が新居浜の海側の歴史として、とても
重要な島だったことがわかります。今は島の人口も減っ
ているそうですが、島を元気にするためにPRしている人た
ちや、大島の自然を愛して、島での暮らしを楽しんでいる人
たちなど、大島が大好きな人たちにたくさん出会えました。
私も、自分のふるさとを、新居浜のことをもっとも
知って、「新居浜が大好きです!」と言える大人になりたい
です。

(琴音)